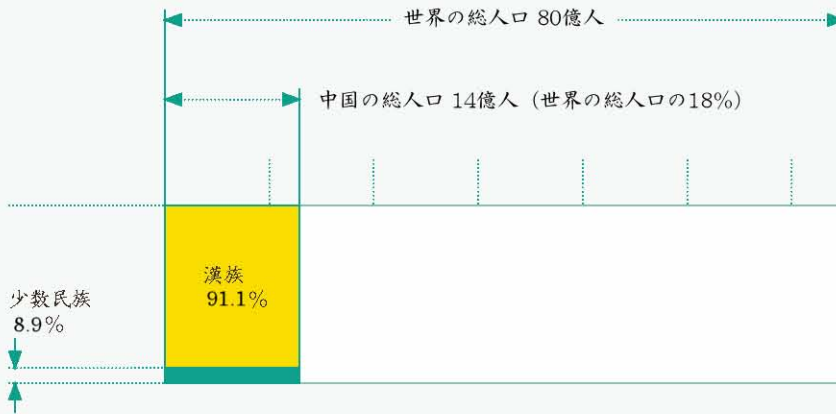


はじめに

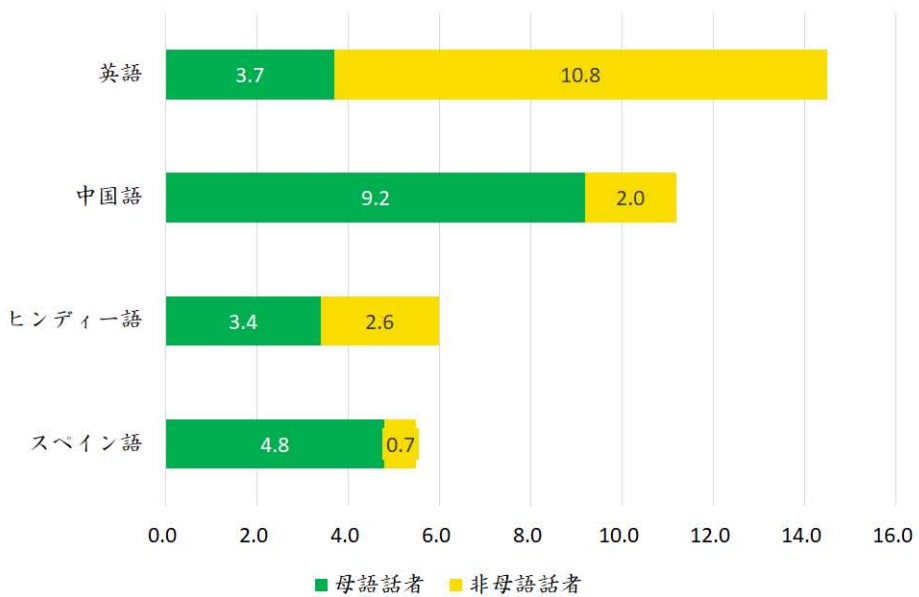
中国語とは

●ポイント——0.1

世界の中の中国と中国語



世界の4大言語の母語話者と非母語話者 (単位: 億人)



【出典】 Ethnologue: Languages with the most speakers, 2022

まずはグローバルな視点から中国という国を概観してみましょう。

現在の中国の国土面積は960万平方キロメートル。日本の国土面積が37万2千平方キロメートルですから、およそ25倍強。一国でヨーロッパの総面積とほぼ同じ国土を有している計算になります。さらにその人口について見てみますと、中華人民共和国国家統計局が実施した人口調査によれば、2020年現在の総人口は14億1177万人（香港、マカオ、台湾を除く）。これまた一国で世界の総人口の18%を占める計算になります。

つぎに中国国内へと目を向けてみますと、これほどの国土と人口とを有するにもかかわらず、数千年にわたる統一事業の結果、中国には「漢族」と呼ばれる比較的均質な民族が形成され、その人口は実に12億8631万人、総人口の91.1%を占めるにいたっています。「チワン族」「チベット族」「ウイグル族」「モンゴル族」といったいわゆる少数民族は、現在その数55、累計人口も1億2547万人にのぼっています。

● ポイント — 0.2

中国語とは

中国語……中国の全人口の9割以上を占める漢族の
民族共通語である 普通話 pǔtōnghuà のこと

つぎに、みなさんが今日から勉強する「中国語」について簡単に説明することにししましょう。

すでに述べたとおり、中国は漢族と55の少数民族からなる多民族国家です。このため「中国人が話す言葉」という意味で「中国語」といった場合、そこには当然数多くの少数民族語が含まれます。そこで、こうした曖昧さをなくすために、中国では全人口の9割以上を占める漢族の言語を特に 汉语 Hànyǔ と呼んで、他の少数民族語と区別しています。

とはいえ、この 汉语 Hànyǔ も全人類の 5 分の 1 弱にあたる 14 億余りの人々によって話されているわけですから、当然かなりの方言差が生じています。このため中国では近代以降、漢字の読音の統一などに代表される国語統一運動が急ピッチで推進されてきましたが、新中国成立後の 1955 年、全国文字改革会議において漢族の民族共通語としての 普通话 pǔtōnghuà という名称が、①現代北京語の発音を標準音とする、②北方語を基礎方言とする、③典型的な現代口語文による作品を文法規範とする、という定義とともに、正式に採用されることになりました。

つまり、みなさんが今日から勉強する「中国語」とは、この 汉语 Hànyǔ の共通語である 普通话 pǔtōnghuà のことなのです。